

女子決勝					
2022年11月20日(日) 12:00~					
会場 美幌スポーツセンター					
結果	北見市立小泉中	73	18 - 17 19 - 9 21 - 15 15 - 14 -	55	斜里町立斜里中
審判	主審		副審		



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立小泉中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	岡田 望愛	×	13	1	5		2		
5	佐々木 碧	×	40	4	14		10	10	4
6	小松 由衣	×	2		1		2	5	1
7	横山 怜奈	×	14	2	3	2	2		
8	長瀬 莉麻	×	4		2		3	1	2
9									
10	谷 日葵								
11	平野 流雫								
12	沖崎 花恋	/	0						1
13	福田 奈央	/	0						1
14	土田 春日								
15									
16									
17									
18									
C	岩本 竜育								
合計			73	7	25	2	19	16	9

斜里町立斜里中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	奥泉 藍瑠	×	12	3	1	1	2	1	2
5	小関 都摘	×	16		7	2	3	1	4
6	石垣 和奏	×	8	2	1		6		1
7	鈴木 悠華	×	15	1	6		1		4
8	本間 さくら	×	4	1		1		2	
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
C	室本 百合菜								
合計			55	7	15	4	12	4	11

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q  
斜里#6の3ポイント、小泉#4のフローターで開始早々からゲームが動き出す。互いにドライブを警戒しながらの慎重なDefとなるが、斜里は#6のジャンパー、#4がスティールからのレイアップを決めゲームの主導権を握りかける。一方、小泉も#4のこのピリオド2本目のフローターを決め、主導権を渡さない。斜里#6が2本目の3ポイントを決めると、負けじと小泉#4が3ポイント、ドライブと連続加点で逆転。斜里#8が3ポイントを入れ返すが、斜里#7が4つめのファールを犯し、小泉#5がバスケットカウント。17-18小泉リードで1Q終了。

2Q  
ドライブを警戒する小泉に対し、斜里は苦しいドライブからタフショットを重ねる。小泉はDefリバウンドを確実に回収するも、ミスショットが続き得点に繋がらない。互いに攻め手を欠く中、残り3:42となったところで斜里タイムアウト。タイムアウト明け、互いに入れ合いの展開。残り1:54小泉#8が3本目の3ポイントを決め22-33。さらに突き放しにかかる小泉だが、斜里もドライブ、ジャンパーで連続加点。26-33と追い続ける。終盤、小泉は#8、#4の連続得点で26-37としたところで前半終了。

3Q  
オフェンスの足が動かない斜里に対し、小泉#5が連続ポイントを上げ、26-47と差を広げる。4:20、反撃の糸口を掴みたい斜里は、4:20にタイムアウトを請求。タイムアウト後、#4が3ポイントを決める。しかし、小泉#5が3ポイント、リバウンドショットを決め、差はさらに広がる。そのまま小泉の勢いは止まらず41-58で終了。

4Q  
斜里は#5をローポストに配置し、OFFを展開。これが功を奏し、#5が連続得点。Defでは、Wチームを仕掛け、積極的なDefでボールを奪いに行くがあと一歩ボールを奪うことができない。逆に小泉は、相手のターンオーバーから確実に加点し、55-73で試合終了。コロナ禍の中はあるが、今大会での課題を修正し、北北海道大会での健闘を祈る。

北見市立南中学校 大浦幸一

女子3決					
2022年11月20日(日) 12:00~					
会場 美幌スポーツセンター					
結果	北見市立北中	50	8 - 20 18 - 5 13 - 7 11 - 12	44	北見高栄・美幌中
審判	主審		副審		



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立北中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	田名部 沙希	×	11	3	1		2		1
5	戸村 望乃	×	12		6		4	4	2
6	伊藤 奏陽香	/	5	1	1		2		1
7	佐藤 陽菜子	×	6	1	1	1	4	2	2
8	中山 日々華	×	6		3		2	4	2
9	山崎 心羅								
10	深瀬 歩乃果	×	10		4	2	2	4	1
11	久保木 彩渚								
12	竹江 麗來								
13	仲野 一栞								
14	鈴木 友菜								
15	0								
16	0								
17	0								
18	0								
C	蝦名 智規								
合計			50	5	16	3	16	14	9

北見高栄・美幌中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	本間 華奏	×	2		1		1		4
5	赤木 聖徠	×	6		2	2	1		3
6	佐藤 百華	×	7		3	1	1		1
7	鹿野 明愛	×	12		5	2	1		1
8	大高 あおい	/	7	1	2		5	1	1
9	清水 秋里								
10	國分 雅姫	×	10		5		3	4	4
11	0								
12	0								
13	佐藤 舞音	/	0						
14	0								
15	0								
16	0								
17	0								
18	0								
C	桑原 翔								
合計			44	1	18	5	12	5	14

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q  
白4, 5, 7, 8, 10, 青4, 5, 6, 7, 10でスタート。開始直後青7のドライブで先制。白は10を中心に合わせを作り点数を狙うもリングに嫌われる。青はボールマンへの圧力を強くし相手のミスを誘う。そしてルーズボールを回収してからの速攻を決めきり差を広げる。白8-青20で点差を12点に広げ1Q終了。

2Q  
白4, 5, 6, 7, 10, 青5, 6, 7, 10, 13でスタート。白ペイントエリアへのドライブを増やし、3連続でゴールを決め点差を縮める。主導権を握らせたくない青はタイムアウトを取るも、接触を嫌がらなくなった白が攻守ともに勢いに乗る。オフェンスリバウンドを回収し、セカンドチャンスをもにす白。残り3分で同点。ここで青は温存していた7を投入。点の取り合いの様相を見せ始めるも互いに決め手に欠き、白26-青25で白が逆転し2Q終了。

3Q  
白4, 5, 7, 8, 10, 青5, 6, 7, 8, 13でスタート。3Qに入り足が止まった青に対し2Qの勢いそのままに白はインサイドを中心に加点。流れを変えたい青は4, 10を投入。しかし白の攻撃の手は緩まず、青の防戦は続く。一方の白は決定力に欠き、ゲームの主導権を握るとは言えないまでも徐々にリードを広げる。白39-青32と白がリードを7点に広げて3Q終了。

4Q  
白4, 5, 6, 7, 10, 青5, 6, 7, 10, 13でスタート。早い時間で追いつきたい青はディフェンスの強度を上げる。青10を中心にオフェンスリバウンドを回収するもセカンドチャンスをもにすることはできず。一方の白もチャンスは作ってもシュートは落とす。ただ白の方が足が動いている分、ディフェンスなども運動が見られチームで守ろうとする意識が見られる。時間が経つにつれ点差が重くのしかかる青。ディフェンスのラインを上げ白にプレッシャーをかけミスを誘い速攻で反撃を試みる。残り2分40秒、白のタイムアウト。ここから白は時間をかけバスケットを展開する。この作戦が当たり白50-青44で辛くも白が逃げ切る。お互いに北大会をかけた大一番、接触を恐れず果敢にリングに向かったチームが勝利を収める結果となった。

美幌町立美幌中学校 須藤一雅

男子決勝					
2022年11月20日(日) 13:20~					
会場 美幌スポーツセンター					
結果	北見市立南中	85	27 - 14 26 - 9 18 - 11 14 - 7	41	北見市立小泉中
審判 主審		副審			



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立南中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	中原 正人	×	14	2	3	2	8	5	2
5	齊藤 琉星	×	11	1	4		2	2	1
6	高橋 瑛大	×	28	4	8		3		2
7	前田 貫太	/	2		1				1
8									
9									
10	森 秀野	×	8	2	1				4
11	伊藤 一鷺	×	22	1	9	1	1	1	2
12									
13									
14									
15	青木 蓮	/	0						
16									
17									
18									
C	大浦 幸一								
合計			85	10	26	3	14	8	12

北見市立小泉中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	河合 柚太	×	21	2	6	3	5		1
5	上杉 純矢	×	2		1		5	3	1
6	小山田 琉	×	13	1	5				1
7									
8									
9	竹中 優騎	×	0				1	1	
10	澤田 然太	/	3	1					1
11									
12	信本 律斗	×	2		1		1	1	1
13									
14	佐々木 広太郎								
15									
16									
17	神戸 凱成								
18	渡辺 楓太								
C	岩本 竜育								
合計			41	4	13	3	12	5	5

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q	南中学校④⑤⑥⑩⑪、小泉中学校④⑤⑥⑨⑫、両チームハーフコートマンツーマンDFで試合開始。先制したのは南⑤⑥の連続3ポイントシュート。対する小泉は④⑤⑥がオフェンスを組み立て、シュートをねらう。開始3分、南④⑤のDFリバウンドからのブレイクが出る。2-10で南が序盤の主導権を握りつつある中、小泉⑥がキレのあるドリブル速攻が決まる。南中は⑪のペイントアタックから④への合わせですかさず加点。リバウンドはやや南中が支配。両チームHCから「丁寧！」というオフェンスの指示が出る中、南中④が落ち着いて3Pを決める。小泉中はバスでギャップをアタックしようとするも、南中の堅いDFに阻まれ、ターンオーバーを与えてしまう。残り2分で19-8。南中は⑤のシザーカットで加点した残り1分で小泉中タイムアウト。再開後、小泉中④⑩による連続3Pが決まる。流れを引き寄せたい小泉中。しかし南中⑪が躍動。速いドリブルからレイアップ、ジャンプシュートを決め、1Q27-14南中リードで終了。
2Q	追いつける小泉中。開始直後、④はインサイドの⑤とのコンビネーションでシュートチャンスを作り、3Pを決める。それでも南中の激しいDFは全く止まらない。パスミス誘発し、チャンスとみるや積極的にダブルチームをねらう。南中⑪が冷静に3Pを決め、2Q残り4分32-19で南中リードの展開が続く中、南中⑤の力強いドライブからのバスケットカウント、⑩の3Pで徐々に点差が開き始める。小泉中はドリブルハンドオフ、④へのピック&ドライブで南中のDFを崩そうと果敢に攻める。残り3分小泉中2回目のタイムアウト。オフェンスを3アウト2インに変更し、スタックからのエントリーでウイングにボールを展開し、攻撃のリズムを変えたい小泉中に対し、南中はプレッシャーの手を緩めず、ターンオーバーから⑩の3Pが決まる。さらに⑤→⑥へのキックアウト、④のコールカットへのファウルに対するフリースロー2本、⑥の3Pなど多彩な攻撃を展開する。小泉中はなかなか南中のドライブを止めることができず、我慢の時間が続く。残り数秒で小泉中④が後半の巻き返しにつながる3Pを決め、2Q終了53-23。
3Q	先制は小泉中。⑥がターンオーバーで連続得点。④もUCLAカットからのシュートを決め、着実に点差を縮めていきたい場面、南中ベンチからは「丁寧にきちんとやりなさい。」とコーチの檄がとぶ。冷静さを取り戻した南中は、ドライブを警戒する小泉中DFの間合いを見極め、④のアウトサイドからの連続得点で息を吹き返す。小泉中④はドライブで南中DFを崩しにかかる。しかし南中は緩急自在の中抜け、ダブルカット、ドライブ&キックアウト、連続3Pで小泉中の追い上げムードを断ち切っていく。小泉中は④⑤⑥を軸に奮闘するもリバウンドを回収することができない。71-34で3Q終了。
4Q	両チームの激しい攻防が続く中、開始2分、南中⑥⑪が速攻で加点。小泉中はセンターの⑤にボールを集め、インサイドのプレーにねらいを定める。残り5分77-34。南中④⑤との激しいリバウンド争いに挑む小泉中。速い展開で得点を重ねていきたい場面であったが、逆に南中の堅守からの速攻で得点を奪われてしまう。終始ルーズボール、リバウンドで主導権を握り、小泉中の猛攻を抑えた南中が85-41で見事オホーツク中学校バスケットボール新人大会優勝を飾った。コートに立つ5人が変幻自在に連動する南中のオフェンスは、今後のチームづくりにおいて、オホーツクの全てのチームが学ぶべきと考える。北大会に出場権をつかんだ両チームのさらなる健闘を期待したい。
北見市立北中学校 蛭名智規	

男子3決					
2022年11月20日(日) 13:20~					
会場 美幌スポーツセンター					
結果	美幌・女満別	67	22 - 16 20 - 7 16 - 15 9 - 14	52	北見市立北光中
審判	主審		副審		



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

美幌・女満別									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	浅田 遙希	/	3	1			3	1	1
5	松岡 大翔	/	3		1	1			
6	篠塚 奏輔	×	2		1				
7	福士 惺望	×	21		10	1	1		5
8	松浦 雅哉	×	6		3		7	4	3
9	重成 渉	×	27	2	10	1	1		2
10	羽田 蓮次	×	5	1	1		2		
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
C	須藤 一雅								
合計			67	4	26	3	14	5	11

北見市立北光中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	小野 凌之介	×	22	1	8	3		1	
5	山内 奏士郎								
6	齋藤 瑠唯	×	8		4		2	1	1
7	菊地 優良	×	13		6	1	5		3
8	横山 太一	×	7		3	1	3		5
9	会田 大翔	/	0					1	
10	武山 隼大								
11	三浦 綺柳								
12	中島 瑛太								
13	鈴木 翔也	×	2		1				
14	0								
15	0								
16	0								
17	0								
18	0								
C	佐保 猛								
合計			52	1	22	5	10	3	9

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q  
白 6 7 8 9 10 黒 4 6 7 8 13  
白は開始から9のブルアップジャンパーが2本立て続けに入る。7番のドライブからバスケットカウントも決まり、白がペースを掴む。開始2分で10対0。黒は5番の欠場もあり、外回りの苦しいプレイが続く。黒の4番がジャンプシュートを決めるも、12対2。黒は徐々にドライブプレイが決まり始め、19対14とついていく。最後は22対16とハイスコアな試合の始まりとなった。

2Q  
白のディフェンスが成功し、7番のレイアップが決まる。白の7番と9番の身体能力が高く、黒は守りきれない。開始3分で33対17。黒はたまたまタイムアウトをとる。しかし、高さで勝る白の勢いを止めきれない。白は43対23で前半を折り返すも、7番8番の2人がファウル3つとなってしまった。

3Q  
黒はコンビネーションオフェンスではなく、1on1が続く。黒4番は攻め続け、ほかの選手もオフェンスリバウンドをとるが決めきれない。開始5分で白がタイムアウトを請求。ペースが変わらず58対38で3Q終了。

4Q  
互いにトップからのドライブをヘルプで手厚く守り決めきれず、開始4分で互いに2ゴールずつしか決められない。最後まで流れは変わらず、67対で52で終了。白の勝ち。

北見市立高栄中学校 桑原 翔